



## 市民記者が行く!!

# かめやま見てある記



市民記者  
廣森 亜紗美さん  
(白木町)

### 時速90kmに挑み続ける 子どもたち

小学生の定番スポーツ「ドッジボール」。1990年代に小学生の間で一躍大ブームを巻き起こしたマンガ「ドッジ弾平」をきっかけに結成されたチームが亀山市にあります。それは「関スポ少グリーンキッズ」。

平成3(1991)年に結成され、部員数の減少に悩まされながらも、平成17年から遠ざかっている全国大会出場を目指して、日々練習に取り組んでいます。23年間、変わらずチームを引っ張るのは平松監督です。

練習は、選手たちが主体となって、キャプテンを中心にチーム内で指導し合い、常に活気あふれる声が飛び交っていました。監督が一言注意をすると、休憩中でも自主的に練習する姿が見られ、“うまくなりた”“強くなりた”という気持ちがひしひしと伝わってきました。また、選手たちは礼儀も正しく、見えてとても気持ちのいいチームでした。

キャプテンの川森悠衣くん(関小学校6年)にドッジボールの楽しさを聞くと「強いボールをキャッチした時、強い人を当てた時が楽しい」と笑顔で話してくれました。「遊びのドッジボールと違い、競技スポーツでのドッジボールはたった5分間で勝負が決まってしまうので、1分1秒も気が抜けません。また、男女が一緒にできる唯一のスポーツです」とドッジボールの魅力について熱く語る平松監督。

小学生でも時速90kmを超えるボールを投げる子どもいるとのこと。勝つためにはそのボールを何としてでもキャッチし、自分たちのボールにしなければなりません。全国大会に出場するため、勝利するため、グリーンキッズの挑戦はまだ続きます。



毎月21日は  
「市民交流の日」  
きらめき亀山21

## 市民活動 コーナー

### 思い出のテレビドラマ(映画)について語ろう

11月のきらめき亀山21は、昭和のテレビドラマや映画について話し合いました。

参加者からは、往年の名俳優やその出演作品、当時の海外のドラマ・映画などが紹介されました。ほかにも、当時は学校の行事で映画館に映画を見に行ったこと、上映前にみんなでカウントダウンをしたこと、また、テレビが普及していない頃は、テレビのある家にテレビドラマを見に行ったことなど、当時ならではの思い出を話していました。

参加者の皆さんは、しきりに「あの頃は貧しかったけど、良い時代だった」と思いを馳せていました。近所付き合いや人とのつながりが希薄になりつつあると言われる昨今、当時のテレビドラマや映画は、人とのつながりの大切さも教えてくれるように感じました。これから

の市民活動には、そのような「つながり」や「絆」がますます大切になってくるだろうと気付くことができ、大変有意義な時間となりました。

1月のきらめき亀山21は、「私に影響を与えた1冊」です。参加者が楽しく情報交換し、今後のそれぞれの活動のヒントとしてもらえればと考えます。

きらめき亀山21は、人と人との交流の場です。申し込みは不要で誰でも参加できますので、ぜひお越しください。

#### 1月の市民交流の日

テーマ 私に影響を与えた一冊

とき 1月21日(水) 午後7時30分～9時30分

ところ 市民協働センター「みらい」1階多目的ホール

参加費 無料

問合せ 市民文化部 文化振興局

共生社会推進室 ☎84-5066)

URL <http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/>